

平成28年1月7日

産業厚生委員会

(所管事務調査分)

阿久根市議会

1. 日 時 平成28年1月7日(木) 9時57分開会
10時52分閉会

2. 場 所 第2委員会室

3. 出席委員 仮屋園一徳委員長、白石純一副委員長、中面幸人委員、
野畑直委員、濱崎國治委員、牟田学委員、
岩崎健二委員、山田勝委員

4. 事務局職員 議事係主査 大漣 昭裕

5. 会議に付した事件
・所管事務調査事項

6. 議事の経過概要

別紙のとおり

議事の経過概要

仮屋園一徳委員長

それでは時間前ですが、全員お揃いですので、ただいまから産業厚生委員会を開催いたします。

本日は、所管事務調査事項に関する視察について、協議を行いたいと思います。

当委員会で閉会中の継続調査となっている案件は、1、地元企業の育成と商店街の活性化について、2、海を活用した観光行政と宿泊設備の整備について、3、道路・河川等の危険個所の整備について、4、集落営農を活用した農業振興についての以上4件です。先の委員会で、先進地視察を行いたいという意見がありましたが、本日は具体的に視察先、及び日程案を決定したいと思います。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

山田勝委員

それは別にかまいませんけどね、所管事務調査は地元の、市内のね、身近な所管事務調査をした結果、そしてどこかに行こうという話なら理屈がわかるけど、今まで、例えば、なら、市内の企業をどこどこ回ろう、何を回ろうと、ただやったのは、建設課にでてきた要望書を見ただけの話で、なんで今までせないかんとをせんじんきたわけ。工場を見るのも、それもしてない。何もしていない。それは、視察をするのもいいよ、何をもとに、阿久根市の所管事務調査をした結果、どうしてもこの部分をどっかに行つて視察をしたいという流れはなかよ。何かああけ。そのもとで視察というのは、市外に行くというのは、発生するわけで、何も我がえん地元では何もしないよちゅうのは、それはもうしていいよ、していいけど、私はもうそのもともとせないかんことをやらなかったちゅうほうがね、責任を感じるね。

牟田学委員

きょうその、きょうのこの委員会で、結局私は長島町の企業を見たいという、それをきょう決めるんじゃないんですか。

仮屋園一徳委員長

ちょっと休会といたします。

(休憩 10:00~10:14)

仮屋園一徳委員長

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

皆さんからの御意見を伺います。

白石純一委員

私は海を活用した観光行政の観点からこれまで説明に来ていただくということも出てましたけれども、具体的に私は阿久根の海に潜ったことのあるダイバーショップの方ですね、実際じゃあ潜った時の写真とか映像があればそれもあわせて見せてもらう。そして実際にできれば先方さんが許せばダイバーズショップに行つて、行くことでそこに来られているお客様がどういう方なのかとか、そのダイビングの雰囲気も伝わりやすい

と思うので、やはりこういう会議室で話を聞くだけではなくて、そのダイビングのショップに出かけて行って話を聞くということも意味のあることなのかなと思います。

仮屋園一徳委員長

はい、今、白石委員からありましたけど、その前にですね、先ほども提案しましたように、視察先についてと、日程について先に進めたいと思いますので、その後、地元の調査についてはまた皆さんからの御意見をお聞きしたいと思います。

まず、視察先についてですけど、こっち、前もってこちらで提案しますのは、熊本、佐賀、その辺を調査先としたいというふうに考えているんですけど、その辺についてはいかがですか。

[中面幸人委員「それはどの部分ですか」と発言あり]

集団営農。現場に行くのからですね。先進地視察を行いたいという意見がありましたので、本日は具体的に視察先及び日程を決定したいということです。先に視察先について皆さん方からの御意見があればお聞かせください。

中面幸人委員

調査項目のですね、4番目になりますけど、集落営農を活用した農業振興についてでございますが、前回農政課を呼んで説明をお聞きしましたので、私は次の段階としてです、今年度中はですね、やはり地元にある平成19年度に組織された瀬之浦地区のですね、水稻の受託組合を1回調査して、その中でいろいろな課題等があればですね、それをお聞きしながらですね、もう次の段階に進めるべきじゃないかなと思っておりますので、もう今年度中は他県、他市町村のですね、ちょっと視察は無理かなと思っておりますので、本年度はその程度でどうかなというふうに思っておりますけど、どうでしょうか。

仮屋園一徳委員長

今、中面委員から2月初旬に計画してますけど、もう2年ありますので、今回は視察を見送って次に回したらという意見ですが、ほかの委員から御意見はありませんか。

山田勝委員

視察をするせんはもう皆決めていいんだけどね、私は農政課の問題を（聴取不能）非常に阿久根市の農政っていうのはネックがあるのよね。例えば私がいい精米機を買ったらどうだって言ってもですね、例えばJAいずみにライスセンターが阿久根市はないから、やれ施しようがないという意見もあるんですよ。だからもうちょっとね、農業政策の中で、もうちょっとお互いによく勉強をして進めないかん部分があると思いますよ、今、中面委員は脇本のあれを、京田君たちの組合を言いますが、私はな、もう1つ例えば多田地区に寺園君が今やってるじゃないですか、あのグループを育てるとか、あるいは山下付近に育てるとか、やっぱり2つか3つくらいの組合を育ててね、そしてその行政的にアップできるものはアップして阿久根市の農政はやらないかんの、どうも片手間だから、ほかのところを見に行くこともだけど、そのほうが大事だなあと思う。だから京田君たちのを聞いたり、あるいはもうちょっと地元にあるのを自分たちも調整せないかんという気がするんだよね。私は。

濱崎國治委員

今のお二人のをちょっと合わせるような感じになるかと思いますが、まず、中面委員が言ったようにですね、まず地元をこうして課題とかいろいろを持って、ほかの先進地を視察したら、その後、あ、阿久根はこうやっているけど他市はこんなふうな進んだ営農をしている、あるいは営農の仕方はこうだというのを持っておっしゃったように、

じゃあ多田の、あるいは山下のをすれば、こういうふうになれば営農、集落営農を活用して農業振興につながるんですよという、そういうつなげられるような方法があるいはできるんじゃないかなと気がするんです。どうなんでしょうか。あの瀬之浦がものすごく進んでおって、これはモデル的なものですよと言えばそこだけでいいし、ただそこだけを見て、ほかの所も見てこんなふうな違いがあるからじゃあ今後新しくする所はこういう課題を持ってすればどうだろうかとか、農業振興につながるんじゃないだろうかというそういうつながり方のほうがいいんじゃないかなという気がするんですけど。

仮屋園一徳委員長

ほかには、ありませんか。

牟田学委員

今、濱崎委員が言われたようにですね、各委員それほど農業に関してはわからないわけであって、だから仮に瀬之浦をまず見て、それから今委員長が言われた、熊本、佐賀のどちらかを見てですね、この違い、地元の瀬之浦とよその違いを今度は私たちが勉強してですね、それから帰ってきて鶴川内の所も見て、向こうはなこういうことをこういうふうにしとったどという意見も言えると思うんですよ。だから、とりあえず瀬之浦の京田さんあたりを見てですね、説明を聞いて、それから視察に行つて、そちらの勉強もして、地元は地元でこう意見交換というか、できるんじゃないかなと思います。

仮屋園一徳委員長

はい、今、牟田委員から視察前に瀬之浦の現状、実情を調査した後、視察にという意見が出ましたけど、そういったことでよろしいですかね。

[中面幸人委員「そういう流れで」との発言あり]

はい、2つ、ちょっと分かれているんですけど、今回急いでやらなくても次に、いわば2月後半から議会が始まりますけど、その後にということの意味と、それと瀬之浦を調査の後、言えば今進めようとしてる2月に視察に行くという意見、2つに分かれると思うんですけど、その辺について他の委員から御意見を伺います。

岩崎健二委員

今、その瀬之浦の営農組合を見るという視察結果なので、それはそれで大丈夫だと思いますので、それを見た結果、もうちょっとほかに行つて、今、牟田委員がさっき言ったように、じゃあ違うところに行つて、その視察をするかしないか、瀬之浦を見た結果でほかの先進地施設をやるかどうかを決めればそれが順番的にいいんじゃないかなと。そうすると瀬之浦に関してはできるだけ早く調査をして、行くか行かないか決めないと相手先もありますのでできないと思いますから、できるだけ早く瀬之浦の営農組合と連絡してもらって日程を2月と言わないで、もう早くまずして、それによつてもし先進地に行く決めたら、行かないといけないというふうになったら相手方のこともありますので、そういう意味ではなるべく早くそこを先にやったらどうかというのがあります。

中面幸人委員

もう、今のこの流れを見れば、そういう受託組合を調査という形で、それを2月の初めくらいまでに計画したらいいんじゃないですか。今年度中は。もう今年度中に見て回るというのはむずかしいんじゃないですか。

仮屋園一徳委員長

はい、だから日程、難しくなるので、きょう決めないと、行くとしたらきょう決めないとちょっと日程的に。

中面幸人委員

だから今年度中は受託組合の調査をするだけでいいんじゃないですか。

仮屋園一徳委員長

そういう意見ですけど、よろしいですかそれで。

[「はい」と呼ぶ者あり]

そしたら4番目の集団営農を活用した農業振興については、まず瀬之浦地区を調査の上、その後、先進地視察については検討をするということによろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

はい、ではそのように進めたいと思います。

それでは、ほかの項目について御意見を伺いたいと思います。

牟田学委員

地場企業の育成についてですね、先ほど山田委員も言われたように、海連、季節によって操業がピークな時、そうでない時ってありますので、海連、上野食品というのは、季節で調査をすると、ただその瀬戸産業についてはその季節は関係ありませんので、できれば、工場を見るということですね、やっていただきたいなと思います。

仮屋園一徳委員長

はい、地元企業の育成と商店街の活性化についての御意見でしたけど、ほかの委員の方から。

白石純一委員

先ほども少し申し上げましたが、海を活用した観光行政のことで、ダイバー、できればダイバーをビジネスとしてダイビングをやられているところにおじゃまして、写真・映像も見ながら説明を受けるというようなことが1つ。それから実際阿久根で私も参加したことがあるんですけど、鹿児島島の業者でシーカヤックツアーをされているところもございませう。そういうところのお話も聞くのも1つかなと。さらに阿久根の海でのダイビングをされてなくても、遠方とかのほうですね、特にやはりダイビングで問題になるのは漁協との、あるいは漁師の方との調整がいろいろむずかしいと伺っておりますので、そういう漁協、漁師の方との協力を得てダイビング、あるいは海の観光をされているところも、例えば天草のほうにあるというようなことも伺っておりますので、そういったところも1つの候補かなとも考えます。

仮屋園一徳委員長

今、いろんな意見が出てるんですが、地元企業については随時進めていくということで相手方もありますので、日程調整しながら進めていくということによろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

じゃあ、先ほど意見がありましたけど、企業については現段階では瀬戸産業、一番いいのは上野食品は3月ごろと言われましたけど、その辺についてまたちょっと調べてみますので、今、行っても無駄なのかどうなのかですね、そういったことで進めていきたいと思いますが、それによろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは、地元企業の調査について随時進めていくということですが、まず、具体的に瀬之浦地区のですね、調査をいつ頃に予定するのかということをお皆さんから御意見を伺いたいと思います。

山田勝委員

今ね、そんなに忙しくないから、今、先方の日程に合わせてすればいい。

仮屋園一徳委員長

今、先方の日程に合わせてという意見が出ました。

連絡等もありますので、1週間くらいの余裕は必要かと思えますけど、さっそくですね、先方に連絡を取って日程を決めていきたいと思えますが、それでよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

では、異議なしとの声ですので、そのように進めさせていただきます。

野畑直委員

前回の委員会です、道路・河川等の危険個所の整備について、浜町河畔線の局部改良については12月末に回答を得られるという、都市建設課の説明をいただきましたので、このことについて所管課を呼ぶ必要はないかもしれませんが、この結果についてまた調査をしてもらいたいと思えます。

それとですね、この前の要望箇所の中で県道脇本赤瀬川線の折口、牟田、赤瀬川地区の整備要望について、これまで委員会だけでやっておりましたけれども、これは県道ですので、たとえば県議を呼んでそのことについてどのような考えを持って対処をされるのか、またその辺も委員会のほうでできれば一緒にこういう委員会の中に県議も呼んで話をするというのはどうなんでしょうか。

山田勝委員

私は野畑委員の意見に賛成ですよ。なんでかって言ったら私たちは阿久根市議会議員についてはですね、それぞれ地元からいろんな要望をして、それぞれ努力してるじゃないですか。県が何をしとつとろか、失礼な話ですが、私たちに言わせれば何しとつとかわからん。しかも建設課はですね、それぞれ県に要望をする。でも、現実にはね、阿久根市が要望するのは、阿久根市議会として、あるいは阿久根市としてね、県にも上げるけれども、あわせて県議にもやって、その結果を県議からも聞かないかと私は思ってますよ。それぐらいしないとね、せずにいっちゃってや。

濱崎國治委員

私はですね、執行、しようとしたら執行機関の県を呼ばんとですね、議員を呼んだって、議員ができるわけじゃないわけですので、議員は県に対していろいろ意見を言うということですね、じゃあ県はどう考えて、こうこうこういうことで、いろいろ課題があるけれども、県の所管課としてはどう考えているのかということ、私はあえて呼ぶとしたら県の所管課を呼ばんといかんのではないかと。県議を呼ぶというのは、どうなのかなという気がしますけど。

牟田学委員

今に関連してですね、先の委員会で都市建設課を呼んだんですけども、その中の話で委員会が終わった後の話です、今の知事が、伊藤知事が家まで補償、立ち退き補償をしてまで改良工事はしないという話を言っていましたよ。だから、北薩地域振興局の土木部長あたりを呼んでですね、そこらあたりをですね、聞いたほうがいいと思えますよ。

濱崎國治委員

牟田委員の話に賛成なんです。土木部長はともかくとして、所管をするですね、所のだといろいろ意見交換してみたいなというのはありますね。

仮屋園一徳委員

ちょっと休憩します。

(休憩 10:35~10:43)

仮屋園一徳委員

休憩前に引き続き委員会を開会いたします。

先ほど野畑委員より出ました河畔線につきましては、12月末に交渉をされたようですが、まだ回答が得られていないということです。

ただ、前回の委員会で出ましたように、単価を少しでも上げて交渉すべきじゃないかということについて、検討中だそうです。

あと、先ほどから出ています、脇本赤瀬川線については、皆さんの意見をもう1回お聞きしたいと思います。

岩崎健二委員

今、出ましたとおり県の所管課との協議をお願いしたい。できたら道路部長ですか、課長でもいいですので、川内の地域振興局長宛に我が委員会として、所管課との協議を行いたいのので、参加をお願いしますという文章を委員長から出していただいて、その相手の答弁次第によって、またこちらの態度を考えればいいのかと思います。

仮屋園一徳委員

今、岩崎委員より出ましたように、脇本赤瀬川線については今後の計画について、県がどのような考えを持っているかについて聞きたいので、今後、連絡を取りながら、進めていくということによろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

では、そのように進めさせていただきます。

ほかに皆さんから御意見はありませんか。

[「休憩に」と呼ぶ者あり]

休憩いたします。

(休憩 10:45～10:51)

仮屋園一徳委員

それでは、休憩前に引き続き会議を開会いたします。

それでは、本日の委員会はこの程度にとどめ、次回の開催を1月14日に市民交流センターに係る説明会がありますので、それが終わり次第行いたいと思いますが御異議ございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

それでは、そのように決しました。

以上で、本日の産業厚生委員会を散会いたします。

(閉会 10時52分)

産業厚生委員会委員長 仮屋園 一徳